

みんなで作ろう 自治基本条例!



ニュース
第4号

H23.6. 発行

発行元: 袖ヶ浦市自治基本条例策定市民会議

事務局: 市役所企画課 0438-62-2111(内線:265) Fax:0438-62-5916

ホームページ <http://jichikihonsodegaura.web.fc2.com>

市民の意見が基盤!

楽しく学びながらの対話集会

「自治基本条例」は、別名「住民自治基本条例」とも呼ばれています。その名称が示しているように、この条例の基盤になるものは、市民の皆さんの意見であり、条例はその集積されたものでなくてはなりません。私たち『袖ヶ浦市自治基本条例策定市民会議』では、自治会・NPO・市民サークル等多くの市民の皆さんに対話集会を呼びかけながら、条例づくりについてのご意見を聞く集いを開いています。

★ 例えば自治会では ～参加して学んだこと～

その自治会ごとに歴史を感じたり、その自治会独特の取り組みがあったり、新しいまちづくりの息吹を感じたり…。

また、自治会が当面する問題点が共通している部分と、独自の問題があったりして、そのたびに役員さんのご苦勞や意欲に感嘆しています。集いに参加するたびに、私たち自体が深く学ばせていただいている感じです。

★ プロセスを大切に ～うれしい激励や楽しみも～

「自治基本条例は、多くの市民の意見を積み上げて策定していくプロセスが大事だと思う。途中でいろいろ意見交流ができる、このことが大切。」こういう意見を寄せてくださった方もいます。市民会議では、こうした皆さんのご意見をしっかりと受け止め、条例の中に充分反映されるように努力していきたいと思います。激励ありがとうございます。

寄せられたご意見の中に「若い世代（中学生・高校生）の意見を取り入れる工夫が欲しい」という意見がありました。早速、学校側の協力も得て、小中学生の意見を聞く集いや、高校生との対話集会も行われる予定です。子どもたちからの夢のある意見を聞くのが楽しみです。

市民対話集会は、5月半ば時点で、17会場で開催し300件を越すご意見を頂きました。そのいくつかをご紹介します。

- 条例をわかりやすい形で表して欲しい。
- 市民が安心・安全で暮らせるまちづくりを。
- 自然豊かで、健康で、心豊かに暮らせるまち
- 高齢者・障害者・子どもにやさしいまち
- 風通しの良い市役所・議会を
- 安心して子どもを育てられるまち
- できるだけ市民の声を聞いてくれる行政であって欲しい。
- 市の財政が赤字にならないように、財政健全化になるような中身を基本条例に入れて欲しい。
- 袖ヶ浦だけでなく、広く地球的に考えた判断が盛り込まれるような内容になって欲しい。
- 市内にある、各種の市民活動団体の交流などの企画が欲しい。どういう団体があるのかもわからない。
- 自治基本条例はできたが、床の間の飾り物にならぬように。市民・議会・行政共に監視し運用される様に望む。 等等・・・



対話集会は第2次も含めてまだまだ続きます。どうぞ多くの市民の皆さんのご参加を、あらためてお願いいたします。

市民の権利と責務部会 活動報告

「条例というと難しくわからない。私たちにもわかる言葉を使ってほしい」という声がたくさん集まっています。そこで、私たちは文言を「です、ます」調で書いてみることにしました。

今討議に上がっているのは、「自治会を含めた地域の共同体組織で市民自治をどう進めるべきか。」ということです。

「安心して暮らせるまち、安心して子育てができるまち」この願いは、平成19年に行った大規模な市民意識調査で第一位を占め、今行っている市民との対話集会でも多数を占めています。「その願い解決の鍵は、地域の市民自治の進展にあるのではないのか…。」という仮説を立てています。

全国の自治基本条例で、この問題に深くメスを入れた自治体は、数えるほどしかありません。目下夢中になってこのことを研究討議中です。乞うご期待！

【市民参画と協働部会 活動報告】

私たちの部会では、条例の中で使う言葉を一つひとつ掘り下げて議論しています

例えば『コミュニティー』

「地縁的、又は共通のテーマを持った市民が自主的に形成した人の集まり。コミュニティーを説明すると、このような文章になるのかな。」「何かの課題が発生した時、課題を共有する人たちが集まって解決に向けて知恵と力を合わせていく。コミュニティーとはその「核」となるものなのではないだろうか。」

今回の部会では、このような意見でまとまりました。

関東と東北を襲った未曾有の大地震。被災した人達の中には「疎遠だった近所との新たな絆が芽生えた」と。地域協働体(コミュニティー)の大切さが分かるような気がします。

策定市民会議が始まってから半年、まだまだ暗闇の中を手探りで歩いているようですが、「より良い自治基本条例を作りたい。」これが委員全員の気持ちです。